

広 報

ふじかわ

11月号

昭和62年11月5日発行 No. 316

町のメモ

昭和62年11月1日現在
人口 16,954人
増減 +6人
男 8,353人
女 8,601人
世帯数 4,425世帯
面積 31.09km²

富士川町 総務課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵121



みんなでポールを狙います

(グランドゴルフ大会)

町のことしの目標「健康な心とからだで住みよい町に」

昭和六十一年度（昭和六十一年四月一日現在、町の人口二万六千六百八十八人）

歳入では、みなさんや事業所から納められる町税が最も多く、十七億五千二百三十九万円と、歳入全体の約半分（四十八・五割）を占め、町民一人当たり換算してみると、十万三千七百七十八円の税金を納め、十九万七千九百七十六円を使ったこととなります。

（昭和六十一年四月一日現在、町の人口二万六千六百八十八人）

一割と続いています。

歳出では

教育費がトップ

歳出を項目別にみえますと、第一中学校舎耐震補強などに使われた教育費が最も多く、全体の二十四割を占めています。六十年度と比べると、二億八千万円下回っています。

また、総務費は一億三千万あまり（前年比百二十八割）増え、道路新設・改良工事や駅周辺整備事業の用地取得などを行った土木費も、一億三千万円ちかく（前年度比百三十五割）増えました。

ひとり当たり

使ったお金は

歳入（町に入ったお金） 36億1,510万円

町税

17億5,239万円(48.5%)

- 繰入金 1億5,423万円(4.3%)
- 繰越金 1億7,165万円(4.7%)
- 分担金及び負担金 2億1,277万円(5.9%)
- 使用料及び手数料 4,921万円(1.4%)
- 財産収入 1億1,063万円(3.1%)
- 寄付金 2億0,775万円(5.7%)
- 諸収入 6,213万円(1.7%)

昭和61年度 一般会計決算

町債

5,410万円(1.5%)

- 地方譲与税 3,232万円(0.9%)
- 自動車取得税 3,604万円(1.0%)
- 国庫支出金 2億0,590万円(5.7%)
- 県支出金 1億5,731万円(4.4%)
- 地方交付税 3億6,826万円(10.2%)
- 娯楽施設利用税交付金 3,790万円(1.0%)
- 交通安全対策特別交付金 251万円(0.1%)

自主財源

依存財源

61年度・町の家計簿 自主財源が75パーセント

二億七千万円の

黒字決算

昭和六十一年度のまちで使ったお金（一般会計と四つの特別会計）が、町議会の九月定例会で承認されました。

昨年度（昭和六十一年四月一日から昭和六十二年三月三十一日まで）一年間に、まちに入ったお金は、三十六億一千五百十万円、使ったお金は、三十三億四千三百二十万円で、差し引き二億七千二百八十万円が、六十一年度に繰り越されました。

六十年度と比べると、歳入の面で二億四千四百三十四万円、歳出の面で、三億四千四百七十六万円が減少しました。

町の財政力を示す自主財源の収入総額に対する比率は、七十五・三割で、六十年度と比べると、十二・二割上回っています。

歳出を性質的な面からみると、二十八・三割と投資的経費が一番多く、次に人件費が二十

歳出（町で使ったお金） 33億4,302万円

教育費

8億0,159万円(24.0%)

(教育・文化のために)

総務費

6億2,941万円(18.8%)

(行政・事務経費のために)

土木費

4億9,206万円(14.7%)

(道路・公園などの整備に)

衛生費

3億8,279万円(11.4%)

(みなさんの健康のために)

農林水産業費

3億1,970万円(9.6%)

(農林振興対策のために)

民生費

2億9,020万円(8.7%)

(社会福祉のために)

消防費

1億6,332万円(4.9%)

(消防・地震対策のために)

公債費

1億4,544万円(4.4%)

(借り入れ金の返済に)

商工費

5,811万円(1.7%)

議会費

5,617万円(1.7%)

その他

423万円(0.1%)

特別会計の決算

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	5億6,012万円	5億4,812万円
土地取得	2億5,334万円	2億4,846万円
老人保健	4億0,842万円	4億0,837万円
水道事業		
収益的収支	1億7,435万円	1億1,550万円
資本的収支	7,137万円	1億3,793万円

みんなて参加した 町民体育大会の一日

絶好のスポーツ日和に恵まれた十月四日(日)、町をあげてのスポーツの祭典「第三十一回町民体育大会」が開かれました。会場の富士川町立第一中学校グラウンドは、カラフルなスポーツ・ウェアを着た大勢の人で賑い、まっ白に引かれた白線の中で、各種目を競い合いました。

午前八時、全町から十七チームの選手団が入場した後、五十嵐哲之くん(本通三)が聖火を点火し、東町・日の出町チームの加藤康史くんが参加選手を代表し、力強く選手宣誓しました。午前八時四十五分から競技が始まり、六三リレーでは八幡・富士見町が、これまでの記録を〇・六秒短縮する四分十二秒三の大会新記録で優勝したほか、つな引き、婦人順送球、各種リレーなどで熱戦が展開されました。

この結果、南町一・二区が総合優勝に輝き、準優勝に北松野二区、三位に上町が入り、最優秀応援賞は北松野一区が獲得しました。



いくつ入ったかな



ちびっこドライバーも
安全運転で走ります



親子で楽しくボールを運びます



真剣な表情でボールを送る
婦人順送球



五人の息を合わせて百足リレー



かわいいチアガールも
応援にかけつけました

バトンを受け
一生懸命走る選手たち



つなを握る手に力が入ります



第1の障害物を抜け、次の障害に向かって
走り出す選手たち



聖火を手に聖火台に立つ五十嵐くん



ボールを落とさないように慎重に

北松野二区の陽気な応援風景



まちの広場



講習を真剣に聞くみなさん

間伐講習会開催

十月十八日(日)午前九時三十分から三十人の関係者を集め、室野の山林で、間伐講習会が開かれました。

まず、中部農林事務所から間伐の目的・選定の方法などの説明を受けた後、山林に入り、チェーンソーやナタを使って、間伐の実践指導が行なわれました。

町では、これから三年間に百〇百三十杉の間伐を予定していますので、ぜひ、ご協力をお願いします。

「女性による地域づくり研究会」が視察

静清庵地域のさまざまな分野で活躍している女性で構成されている「女性による地域づくり研究会」が、県新総合計画をテーマに、九月二十九日(火)午前九時から、当町を視察研修しました。

この研究会は、女性の視点による提言を行政に反映すると同時に、女性の社会活動の活性化を目的とし、当町からは婦人会を代表して、綿織静江さんがメンバーとして活躍されています。

中央公民館で、富士川町総合計画の概要などの説明を受けた後、富士川橋幅

工事、中野台団地、富士川サイビスエリア周辺のフリーウェイ・オアシス構想など、現地を女性の目で検証しました。

この視察の中、「富士川の河川敷にすばらしいグラウンドがあります、どのように活用していますか」「富士川町と聞くと、手すき和紙・古籾荘などが浮かんできますが、積極的に保護していますか」など、女性の目から見た活発な意見交換が行なわれました。

説明を受ける女性の目も輝きます



大石達也くん国民体育大会で二位

昨年の町民大会で、聖火の最終ランナーを務めた大石達也君が、九月二十一日沖縄で開かれた国体の四百メートルドリレーで、第二位に入りました。

「去年優勝し、今年は目標の四分を切る事ができて、嬉しい」と感想を述べました。



喜びの大石くん

常葉町長が国保の大会で研究発表



壇上で説明する常葉町長

十月一日(木)山梨県塩山市で、第十八回関東甲信静地区国民健康保険制度改善強化推進大会が開かれました。

この席上、常葉町長が「医療保険制度改正による国保財政への影響額に対する未措置額の完全補てんについて」と題し、「国は、国保の実態を深く認識され、未措置額について完全にその全額を補てんするべきである」と熱弁をふるっていました。

ふるさと教室で富士川地区―手すき和紙松野地区―土器づくりに挑戦

ふるさと教室において、十月十八日(日)富士川地区で手すき和紙づくり、二十五日(日)に松野地区で土器づくりにチャレンジしました。

富士川地区では「手づくりのハガキをつくる」と題し、講師に北松野で手すき和紙を製造している石川文夫さんを招き、役

場駐車場に集ったみんなは、三つのすき舟に分かれ、作業に入りました。和紙が破れたりして悪戦苦闘しましたが、全員最後までがんばり抜き、自分だけのオリジナルのハガキを見て、感慨無量の様子でした。

十一月のこの教室で、この和紙のハガキに自分で版画して、年賀状として使います。

慎重に紙をすきます



子供と老人がグラウンドゴルフで交流



思うように入りませぬ

富士川地区の子ども会と老人クラブが、親ほくと交流を深めるために十月二十五日(日)グラウンドゴルフ大会を河川敷スポーツ広場で和やかにを行いました。大会には、六百人が参加し、「子どもの方が上手だ」「このホールは距離が長いから、強く打たなければ…」などお年寄り子どもがいつしよになって、ゲームを楽しみました。

主な結果は次の通り

- ①新町 ②大栗窪 ③宮町
- ④木島 ⑤小山 ⑥舟山町

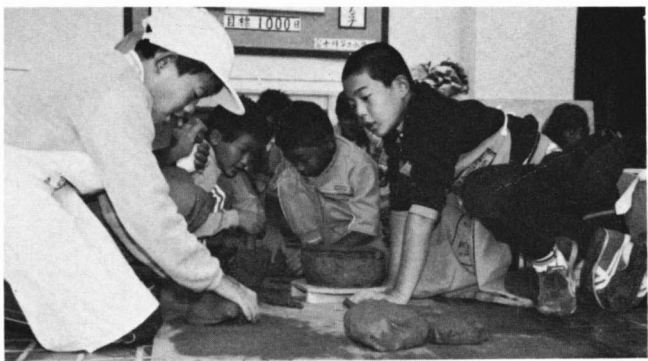
宇多利児童館まつり大勢の人でにぎわう

十月十八日(日)宇多利児童館で、児童館まつりが開かれ、大勢の人で賑わいました。

午前十時から宇多利人形劇サークルによる「マスクマン」や「おむすびころりん」が上演され、会場に集まったちびっ子たちは大喜びでした。

広場には、母親クラブがおもちやや焼そばなどの店を出し、木陰でおでんや焼そばを、おいしそうに食べている家族の姿が見られました。

広場でのバザーにもたくさんのおちびっこが



どんな縄文土器ができるかな

松野地区では「土器づくりを通して、古代人の知恵を知ろう」と題し、陶芸家の宮沢功さん(室野)と郷土史家の稲垣甲子男さん(堺町)を招き、第二小学校で縄文土器づくりに取り組みました。まず、力を入れて台の上で土と粘土をこね、その粘土をひも状にして真つすく積み上げる作業。簡単なようでなかなか難しく、しかし午前中には、八グループすべて高さ五〇センチの土器をまとめあげ、午後から縄や竹を利用して表面の仕上げに入り、見事な縄文土器を完成させました。



マドンナ紹介

久保田 敬子さん (19才)
(清水町)
野田合板(株)富士川事業所



久保田さんは、今春、高校を卒業して、四月に入社したばかりのフレッシュ・ウーマンです。
趣味はドライブと野球観戦。ジャイアンツの熱烈なるファンで、テレビ中継が始まると、欠かさずテレビのスウィッチを入れます。後楽園球場にも、これまで何回も足を運びました。照明灯に照らされた緑の芝の上でプレーする選手達

を見ると、思わず大声で、声援してしまいます。今年はジャイアンツが日本一にならなくてとても残念。来年こそ絶対優勝できるように応援します」とこやかに話してくれました。

理想の男性は、優しく、まじめな人。結婚は、まだまだ先のことだと考えているようですが、本音は早くいい人が現われ、温い家庭をつくるのが夢のようです。

「税を知る週間」

11/11 ~ 11/17

十一月十一日から十一月十七日まで「税を知る週間」です。国税庁をはじめ、全国の税務署や市町村ではこの期間中、いろいろなイベントが計画されています。富士川町では、「税を知る週間」に先駆け、役場前とシズオカヤ富士川店前で、街頭キャンペーンを実施し、税を身近なものとして感じ、税のしくみや税のあらましがわかるパンフレットや花の種、紙人形などを配布しました。

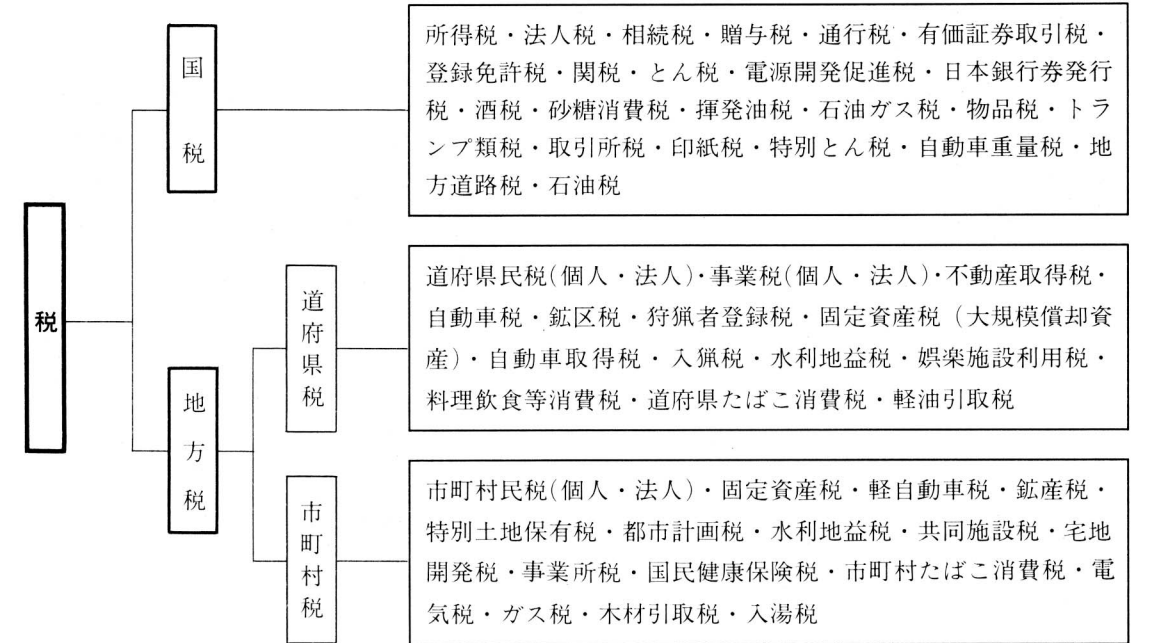
日頃なじみにくい税金ですが、これを機会に税に対する理解を一層深めてみてはいかがでしょうか。



パンフレットを配る納税貯蓄役員

税の種類

国・県・市町村では、みなさんの健康で主化的な生活を守り育てるため、さまざまな仕事を分担しています。これらの仕事に必要な経費は、みなさんからの税によって、まかなわれています。この場合、どこへ納めていただくかによって、国税と地方税に分かれます。地方税も、道府県税と市町村税に分かれています。そこで下記に、いろいろな税の種類を示します。



税についての相談は

◎町税
富士川町税務課
富士川町岩淵二二一
☎〇五四五(八)一一一一

◎国税
清水税務署
清水市江尻東一丁目五ノ一
☎〇五四三(六)四一六一

◎県税
静岡財務事務所
静岡県有明町二番二〇号
☎〇五四二(八)六九二〇

----- 11月分の納税は -----

国民健康保険税 4期	11月30日
国 税 (所得税) 2期	11月30日
県 税 (個人事業税) 2期	11月30日

※納税はあなたの預金口座から振替で

歳時記

渡り鳥

渡り鳥というと、秋空に隊列を組んで、竿になったり鉤になったりして渡る雁や、空が暗くなるほどの大群で飛来するツグミを思い出す方もあると思います。

昔はツグミの群れを霞網で捕らえて食用にしたそうですが、いまは狩猟鳥からはずされて保護されており、こうした光景を見ることはなくなりました。

日本で見られる鳥の約八十五割が渡り鳥です。渡り鳥には、夏を日本で過ごす夏鳥(ツバメ、カッコウなど)、冬を日本で過ごす冬鳥(ツグミ、雁、白鳥など)のほか、移動の途中に日本に寄る旅鳥(シギ類、チドリ類)があります。

また迷鳥といって、本来、日本には来ないはずの鳥が何かの拍子で迷い込むこともあります。

渡り鳥のなかには赤道を越えて一万キロもの旅をするものも多く、特にキョクアジサシという鳥は、北極圏から南極まで一万八千キロもの旅をするそうです。

ところで、鳥の渡りは春と秋に行われるのに、俳句では秋の季語になっています。なぜでしょう。一説には、秋の渡りが集団になって目立つからだとされています。それに、秋は空が澄んできれいなので、見上げる機会が多いからかも知れません。

10月の交通事故

人身事故	6件(8)	合計13件(11)
物損事故	7件(3)	
富士川身延線	5件(2)	
国道一号线	5件(3)	
町道	1件(5)	
国道	2件(1)	
その他	0件(0)	

()は昨年

戸籍の窓

富士松野 小堺卓哉 博方 二男
かなしみ

お母さんの
知恵袋

食卓を見直しましょう

S 62・9・15 10・14届出分 (敬称略)

区名	氏名	保護者続柄	新町	古木さおり	敏道	長女
小山	常盤 卓和弘	二男	新町本町	岡崎奈都紀	一男	長女
上町	若林久愛 義久	二女	新町本町	杉田惠美	正之	長男
坂下	瀧 尚弘 久	長男	四十九町	麻布弥幸 昌昭	二女	宮
坂下	望月燮太 信洋	長男	南町二	小林祐里奈 辰明	長女	八幡町
堺町	望月稚菜 徹	二女	南町二	佐藤由加 光利	三女	大北町
			富士見町	望月 彩 昌	二女	川口文雄
						三六

区名	氏名	年齢
旭	町 安彦隆男	五六
旭	町 齋藤タカジ	八四
宮	町 松下茂作	九〇
宮	町 古川章造	五八
幸	町 塩坂耕太郎	六五
南町二	石川勝次	七七
八幡町	高野文子	三一
八幡町	二又川梅次	八九
大北町	川口文雄	三六

私達の食卓メニューは、和・洋・中華とバラエティに富み、豊かで恵まれた様に見えますが食生活も、いろいろ問題がかくされています。

健康に対する不安感が、「健康食品」、「手造り」と書いてあるものに目がいきます。バランスのとれた食生活をすれば、その心配はないでしょう。

今、便利食品・レンジを使っ

町への寄付金(敬称略)

S・61・8・28

三万円 社会福祉事業へ
久保田 登 (清水町)

善意銀行へ寄託(敬称略)

S 62・9・11 10・20

五十本 かぎあな福寿会
二万円 富士川町連合太子会

社会福祉事業寄付金(敬称略)

S 62・9・22 10・20

五万円 大久保勝令(上町)
五万円 斎藤 仁 (旭町)

婦人会(朝比奈)

俳句会

〔文協俳句会〕

宮町 増井 冬木
壺一つ埋めて故郷の山眠る
南町二 法月 幸子
衝羽根を裾にやさしき童子仏
南町一 影島 智子
帯解いて色なき風にまかせけり
大北町 天野 たま
柿もぎて裏山の闇深めけり
南町一 上野みつ子
行く秋や珊瑚の口紅の観世音
南町一 上野 君江
野良鳩のしのび足あくそぞろ寒
南町一 田辺つぎ子
社交辞令上手に交わし松手入
南町一 望月 洋子
雲流れこぼるも咲くも萩白し
清水町 宇佐美裕子
歳月や下闇なせる生家跡
南町一 宇佐美幸子
磨ぎ水の流れゆく先秋螢
旭町 笠井みち子
寒天に互いの憂さを流しけり
富士松野 市川美代子
久々の野萩の道や夫につき
南町二 綿織 和子
山城と向い合いて富士粧えり

一里塚



夏の暑い日差しが消え、すがすがしい風が吹く此頃、体がひとりで心地よいテンポで動くような気分です。

人間はやはり、「よく食べ」「よく眠り」「よく運動」の三つが、健康維持の秘訣だと思います。

この中で私の健康維持にあてはまっているのは、「よく食べ」「よく眠り」の二つです。運動らしい運動は何もせず、通勤も車を利用してあるので、運動不足になるのも当然です。車の免許を

取る前は、毎日、多少の雨でも自転車で通勤していたのですが、車の運転を始めてからは、家からそんなに離れていない場所でも車を使い、自転車に乗ることさえ、なくなりました。便利だからといって、すぐ車を使うことは悪いと思いつながら、つい車のエンジンをかけてしまっています。

(旗持)

去年の秋、役場の周辺を二キロほど、数人の仲間といっしょにジョギングして気持ちよかったです。今年もさわやかな風の中をジョギングして、少しでも運動不足の解消をしようと思っています。